

講演会等報告

新入生に贈るグローバルコミュニケーション教育センター (CEGLOC) 主催公開演会を開催

平成27年5月8日（金）、筑波大学大学会館国際会議室において、新入生に贈るグローバルコミュニケーション教育センター主催公開講演会「これから生きていく世界でみなさんに期待されていることー多言語社会インドへの3回目の出張から帰国してー」（講師：浜名恵美 CEGLOC センター長・人文社会系教授）を開催した。

この講演会は、①世界での活躍が期待される本学学生にグローバル人材に成長するためのヒントを提供すること、②そうした高い志を持って充実した学生生活を送るための動機づけの一助とすること、③英語のみに限定されない、幅広い外国語学習の重要性に対する問題意識を持つ契機とすること、の三つを目的に実施したものである。

浜名センター長は、1.多言語社会であるインドの言語状況と文化状況が多様な価値観に基づく社会の活力を生み出していること、2.イギリス支配の歴史を持つインドの人々が英語を逞しく駆使して働いていること、3.国際舞台での英語運用能力は必須であるものの、英語以外の現地語の習得も大切でマルチリンガルな能力を持つ人材がますます求められていること、4.外国語をただ使いこなせるだけではなく、異なる国に属し、異なる言語・文化・習慣を持つ人々と心の交流ができるような異文化理解力と人間性溢れるコミュニケーション力を持つことが不可欠であること、などについて巧みな話術とユーモアを交えて、長年の経験に基づく独自の視点から話を展開された。

さらに、英語の習得に楽をして到達できる道は決して存在しないということ、まさに、**There is no royal road to learning.**（「学問に王道なし」）という諺そのもので、巷に溢れる、聞こえの良い英語学習法のチャッチフレーズに惑わされてならないことを強調された。簡単に英語が習得できる秘術や魔法などはないということをよくわきまえて、正しい文法知識を身につけ、大量の英文を読み、書き、話すという訓練を、時間をかけて徹底的に行わなければならないと繰り返し言及された。

最後に、同センター長は、筑波大学は世界に開かれたトランスボーダー大学を目指し、国際基準の大学に大きく変わっていこうとしているので、非常に充実してきた留学制度を活用して英語圏のみならず、非英語圏の大学でどんどん学び、将来世界と日本を自在に行き来し活躍する人材になってほしいというメッセージを送った。

講演会には50名以上の聴衆が参加し、活発な質疑応答が行われ、盛会のうちに終了した。

（文責：白山 利信・鈴木 清）



講演する浜名恵美センター長

グローバルコミュニケーション教育センター主催
新入生に贈る公開講演会

これから生きていく世界で みなさんに期待されていること

—多言語社会インドへの3回目の出張から帰国して—

講 師:

浜名 恵美

筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター長
筑波大学人文社会系教授

日 時:

2015 年 5 月 8 日(金)
15:00-16:30

(講演60分、質疑応答30分)

会 場:

大学会館国際会議室

講師はいままで3回インドに出張した経験がある。コルカタへの飛行機に乗り継ぐために立ち寄るシンガポールも多文化・多言語社会として有名だが、広大なインドの多文化・多言語ぶりには驚くほかはない。インドに短期間でも滞在してから、ほとんど日本語しか聞こえない国に帰ると、この落差に唖然とする。

ほとんど日本語だけで暮らしていける日本は日本人には楽だとしても、世界的に言えば、もちろん、多民族・多文化・多言語社会の方がはるかに多い。新入生には、社会に出るまでに、グローバル化する世界で思う存分活躍できるようなコミュニケーション力やマルチリンガル能力を身につけることが期待されている。

今回の講演では、異文化コミュニケーションの理論と実践にもとづき、最初のイギリス留学のときの失敗談から、特に英語の4技能を高める方法まで、みなさんがこれからの大学生活を有意義に過ごすためのきっかけになるような話をしたい。(インド各地の写真もお見せする予定)

主催：筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター

協力：筑波大学地域研究イノベーション学位プログラム(ASIP)

筑波大学 ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム(Ge-NIS)



筑波大学
University of Tsukuba

グローバルコミュニケーション教育センター（CEGLOC） 開設記念公開講演会・シンポジウムを開催

2015年6月19日、「筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター（CEGLOC）開設記念公開講演会・シンポジウム」が、同センターの主催で筑波大学国際会議室において開催され、本学教職員・学生を中心に約90名が参加しました。

筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター（以下、CEGLOC）は、これまで本学の言語教育を担ってきた外国語センター、留学生センター、共通科目「国語」運営委員会の3部門が統合され、2015年4月に発足した新たな組織です。このCEGLOCが本学における言語教育の中核となることで、日本人学生と留学生がともに外国語や日本語を学ぶより良い環境の提供が可能になり、本学のグローバル化に貢献すると期待されています。

今回の公開講演会・シンポジウムはCEGLOCを構成する外国語教育部門、日本語教育部門、国語部門の3者が協力して実施された初めてのイベントとなりました。

前半の公開講演会では、名古屋外国語大学教授で東京大学名誉教授・前東京大学グローバルコミュニケーション研究センター長の高田康成氏が、東京大学におけるグローバル化と外国語教育に関する取り組みを紹介。高田教授は、日本の近代化の歴史を踏まえながら、トライリンガル教育（日本語、英語、英語以外の外国語）の導入・定着・強化など、世界の多様性と日本の地政学的戦略性に配慮した言語教育の必要性を強調されました。そして、新しい言語教育拠点を目指すCEGLOCに、大きな期待を寄せられました。

また後半のシンポジウムでは、CEGLOC 外国語教育部門、日本語教育部門、国語部門の3部門から代表者がそれぞれの取り組みを発表。その後、CEGLOCを軸とした今後の言語教育に対する取り組みについて、一般参加者からの質疑も含めて、議論を交わしました。

CEGLOCの初代センター長には、前外国語センター長の浜名恵美教授が就任。シンポジウムにおいて浜名センター長は、言語教育における「真に対話する力」の重要性を強調するとともに、3部門が一致協力することを呼びかけました。また、開会あいさつを行った学長特別補佐室長の池田潤教授は、開学当初から数多くの実績を残してきた3つの言語教育組織の沿革に触れた上で「歴史ある3組織が統合されることによるシナジー効果に期待する」と、CEGLOCへのエールを送りました。

（文責：松下 聖）



講演を行う高田康成教授



シンポジウム登壇者（敬称略）

（左から）高田康成 名古屋外国語大学教授／浜名 恵美 筑波大学人文社会系教授，
グローバルコミュニケーション教育センター長／小野 雄一 筑波大学人文社会系助
教／加納 千恵子 筑波大学人文社会系教授／今井 新悟 筑波大学人文社会系教授
／李 在鎬 筑波大学人文社会系准教授／石塚 修 筑波大学人文社会系教授／田川
拓海 筑波大学人文社会系助教



2015年グローバルコミュニケーション教育センター (CEGLOC)開設記念公開講演・シンポジウム

日時：6月19日(金) 13:45~17:15 (開場13:15)

会場：筑波大学国際会議室

※申込不要。本学教職員・学生、学外の方のご来場を歓迎します。
※関東鉄道バス「大学会館前」バス停より徒歩3分。

● 講演(14:00-15:00)

筑波大学グローバルコミュニケーション教育センターに期待されること
——東京大学グローバルコミュニケーション研究センター設立の経験をふまえて——

高田 康成 氏

名古屋外国語大学教授(東京大学名誉教授、前東京大学グローバルコミュニケーション研究センター長)

● シンポジウム(15:15-17:15)

グローバルコミュニケーション教育センターの挑戦

発言者(敬称略)

【外国語教育部門】 キーワード:英語・異文化コミュニケーション、ICTを使った英語教育

浜名 恵美 筑波大学人文社会系教授、グローバルコミュニケーション教育センター長

小野 雄一 筑波大学人文社会系助教

【日本語教育部門】 キーワード:日本語のeラーニング、eテスト

今井 新悟 筑波大学人文社会系教授

加納 千恵子 筑波大学人文社会系教授

李 在鎬 筑波大学人文社会系准教授

【国語部門】

キーワード:知的基盤としての「国語」、アカデミックライティングと「国語」

石塚 修 筑波大学人文社会系教授

田川 拓海 筑波大学人文社会系助教

コメンテーター(敬称略)

高田 康成 名古屋外国語大学教授

●2015年4月1日、日本人学生と留学生に対してより効果的で充実した外国語教育・日本語教育を行うことを目的に、筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター(CEGLOC)が開設されました。この講演会とシンポジウムを通して、CEGLOCの目指す姿とこれからの言語教育のあり方を徹底議論します。



主催：筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター

協力：筑波大学地域研究イノベーション学位プログラム(ASIP)

筑波大学 ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム(Ge-NIS)